

1. 2015年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	67,556	111.7	↑
支出	62,134	102.7	→
経常収支差額	5,432		↑

評価：

年度当初は登録者の入れ替わりがあり、収益自体も伸び悩んだが、7月ごろ～は毎月ほぼ予算通りの収益を上げることができた。予算も達成することができ、昨年と比較すると安定した事業運営ができた1年だったと言える。合わせて支出も増えているのが、大幅な人件費の削減は難しいため、2016年度は業務委託費無くなる分、事業費を削減していきたい。



② 職員配置と研修（職員数は2016年1月現在）

【職員配置】

6月に契約職員が退職し、その後も契約枠は空いた状態になっていたが、非常勤職員の増員やチーム連携により、定められた配置基準もクリアしながら運営することができた。

【研修】

実際に支援の中であったできごとを通して、「人権研修」を開催し、ここに関しては法人の理念に基づいた実践をしていくためにも、繰り返し行い深めていくことの重要性を改めて感じた。

③ 事業内容

10月に開催したバザーは大きな成果として挙げられる。目的としていた「地域と協同」「地域に還元」の2点については、共にまちを作っていく、という姿勢でこれからも臨んでいきたい。

日々の取り組みにおいては、運営推進会議の中に地域住民の参加が増えたことや、住民の方が気軽に遊びに来てくださる機会が増えた。そのような状況になるまでのアプローチや経過は成果として挙げられる。

④ 品質管理

稼働率が上がったことは、目に見える質として評価できる点であり、ケアマネを中心に、ケース相談があった事業所へのフィードバックを意識して取り組んだ。一方で軽微な事故が多かった1年でもあった。具体的な内容としては、「服薬による事故」や「訪問の抜け」といった内容が目立った。再発防止が徹底されていなかったという点は早急な課題としてシステムを見直し、改善に努めていきたい。

2. 2016年度の計画

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	67,000	⇒	<p>全体の収入に関しては、昨年とほぼ変わらない数字を目標にしていきたい。2015年度の終わりごろ～看取りの方のご逝去や、その他にも特養入所など、介護度の重たい方が減になったことにより収益も下がった。ここもふまえ、4月～登録21名スタートすることを考えると、左記の数字が現実的だと思われる。</p> <p>要介護度の変動はあるが、具体的には20名～23名といった登録者数を1年間平均して維持していくことが予算達成につながって行く。加算等も昨年と変わらず算定していく予定。</p>
支出	58,353	⇒	<p>人件費については人員体制の変更はあるが、ほぼ昨年と同じ金額を計上。食事が全て事業所内の手作りに切り替わったため、年間450～500万円程かかっていた業務委託費が無くなる。営繕職員の4人の件費合計は多く見積もっても350万円前後。それ以外でも日々の材料費に関しては、工夫次第では味の質を維持しながらコスト削減が可能になる。その為事務費を下げて、営繕の人件費などの事業費を上げてを計上。</p> <p>開設9年を迎え様々な部分で老朽化もみられる。電化製品の冷蔵庫や、エアコン、洗濯機などは急な故障も予測しながら、日々のメンテナンスに努めていく。</p>

② 主課題

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 安定した事業運営 ② 食事作りを特別なものでなく日常的なものに |
|--|

③ 年間事業計画(予定)

4月	花見「桜」	10月	バザー
5月	きずな8周年、つつじ鑑賞	11月	秋の遠足
7月	保育所交流会	12月	クリスマス忘年会
8月	サマーカーニバル	1月	お正月
9月	敬老会	3月	ふらっとたのしむすみよし、梅見